

「黄色ブドウ球菌菌血症マネジメントにおけるASTラウンド頻回化の効果」について

加古川中央市民病院薬剤部では、下記の研究を実施しております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

黄色ブドウ球菌菌血症（SAB）は死亡率や合併症リスクが高いことから予後不良な感染症として知られており、適切な治療が不可欠となっています。

SAB治療において血液培養の陰性化確認や感染性心内膜炎等の合併症検索が推奨されています。当院は抗菌薬適正使用支援チーム（AST）が抗菌薬ラウンドや血液培養ラウンドを実施しており、2018年4月よりその頻度をこれまでの週2回から週5日に頻回化しました。本研究では当院のASTラウンド頻回化がSABマネジメントに与えた影響について明らかにします。

【研究期間】

研究期間：加古川中央市民病院長承認日～ 2023年5月31日

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

対象となる患者さん： 2017年1月から2017年12月の期間及び2019年1月から2021年2月に当院で血液培養により黄色ブドウ球菌が検出された患者さん

- ・基本情報：生年月日、性別、各種検体からの検出菌、現在の内服薬、血液検査、超音波検査、CT検査、併存疾患の有無、他の感染症の有無
- ・データ収集の時期と内容：初回血液培養採取から1か月間のデータを収集（適切な抗菌薬投与開始までの期間、血液培養再検査の有無、心臓超音波検査の有無、化膿性脊椎炎等の深部膿瘍検索の実施状況、AST介入の有無）

【個人情報保護の方法】

すべての患者さんの情報は、第3者にはその情報が誰のものかわからないように仮名加工情報を作成して研究をすすめます。研究成果を報告する時も個人が識別されないように行います。この研究に参加していただいた患者さんの個人情報については、本研究に関わる全ての研究者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管します。

【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益・・・本研究にデータをご提供いただく事で生じる個人の利益は特にありませんが、本研究結果が今後の治療の向上に有用となる可能性があります。

不利益・・・カルテからのデータ収集のみであるため、不利益は特にありません。

【登録終了後のデータの取り扱いについて】

本研究において取得した情報等は、研究期間中は古川中央市民病院において厳重に保

管いたします。研究終了後も少なくとも本研究の終了報告日から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間、当院内のデータベース内のみで管理し、プリントアウトや外部持ち出しは行いません。患者さん及びその家族等から参加拒否または同意撤回があった場合には、その患者さんに関するデータはすみやかに廃棄します。

【研究成果の公表について】

研究成果は学術目的のための論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

【研究へのデータ使用の取りやめについて】

研究への情報提供の取りやめはいつでも可能です。患者さんのデータを用いられない場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。取りやめの希望を受けた場合、それ以降患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかし、取りやめを受けた時点ですでに研究成果が論文などで公表されている場合には廃棄できません。

【問い合わせ窓口】

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい時や、患者さんのデータの使用を望まれない時など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 薬剤部

研究責任者名 山田 真人

連絡先：079-451-5500